

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	14人
-------------------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	7人			14人

前回の改善計画	利用者さんの日頃の様子を常に観察し小さな変化を見逃さない。気づきノートにて共有しその変化に応じた対応を行う。
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	気づきノートを大きくすることで、以前より細かく利用者さんのご様子を記入できるようになった。それに伴い、以前より職員間で利用者さんの変化を共有できるようになった。
------------------	--

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	8人			14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7人	6人			13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	9人	4人			13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9人	4人			13人

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
気づきノートを活用することで、利用者さんのご様子を職員間で共有して、対応に活かすことができた。また、家族さんと送迎時に口頭で様子を伝える、連絡ノートで情報交換をするなどして関係作りに努めた。サービス利用を開始される利用者さんは利用開始前に職員会議で情報を共有し、利用開始をされてからもご様子の把握と普段の会話から何を必要とされているかを知ること、支援に活かした。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
気づきノートの情報量も増え、内容も充実してきたが、気づきノートに書こうとしたことを別の業務に取り掛かったため書き忘れることや、確認のサインがないため全職員が気づきノートに目を通して内容を確認しているのかわからないことがあり、気づきノートの記入や、情報共有に不十分な点が見られた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
特に利用開始直後は些細なことでも見逃さないようにメモをとる。気づきノートへの確認サインの記入を職員同士で声かけし徹底する。また、同時に家族さんにも不安等ないか、笑顔を忘れず声かけする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	14人

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	1人		14人

前回の改善計画	利用者さんとの何気ない会話や活動時の表情などから得られることをミーティング時に話し合い、気づきノートにて全職員が共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	レクリエーション時のご様子や、利用者さんの表情、会話の中から聞いた思いなどを話し合いながら気づきノートに書くことで利用者さんの気持ちを理解し、共有することができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3人	6人	5人		14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3人	7人	4人		14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3人	8人	3人		14人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	7人	3人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1日の振り返りの中で、職員で話し合いをしながら利用者さんのご様子を思い返し、気づきノートに書くことで利用者さんの思いやご様子を理解し、職員間で共有することができた。また、ご利用時の表情やレクリエーション時のご様子などを気づきノートや個人ケースに記録するために利用者さんのご様子をよく観察するようになった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者さんの思いを理解しようとしても、何を聞けばいいかわからない、聞いても思いを汲み取ってあげられない、意思疎通が難しいなどの理由で利用者さんの思いを聞き出すことが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
活動時に利用者さんから話してもらおうゲームでは質問等をより工夫する。衣服や茶菓子など選びやすい選択肢を用意することで利用者さんの意思決定の機会を増やす、食事時やお茶の時間等の時間はゆっくり会話ができる絶好の機会なので積極的に話しかける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	14人

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人		14人

前回の改善計画	利用者さんがたくさん話される機会のある活動を考え、そこから引き出した情報から以前の暮らしを把握する。日々の様子を細やかに観察する。
前回の改善計画に対する取組み結果	外に出かけることでその場所でしか聞けないような利用者さんの昔話を聞くことができた。また、レクリエーションなどの活動を通して日々の体調や気持ちの変化などのご様子を細やかに観察できた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2人	9人	2人	1人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11人	3人			14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5人	7人	2人		14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10人	2人	2人		14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	7人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
レクリエーションや利用者さんとの会話を通して気持ちの変化、体調をチームで共有することができた。共有できた情報から食事を利用者さんのその日の体調やADLに合わせた食事形態や食器で提供するなど、気持ちや体調に配慮した支援をすることができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者さんや家族さんから利用者さんの以前の暮らしぶりを聞き出すことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
昼食やおやつ時間は職員が利用者さんとゆっくり話せる時間なので、会話が弾むように、利用者さんが座る席の配置を工夫し、利用者さんの以前の暮らしぶりや気持ちの変化などの情報を利用者さんから得られるような話しやすい環境作りを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	14人
---------------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人		12人

前回の改善計画	利用者さんの以前の生活や人間関係を理解し地域とのつながりが切れないに支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者さんとの会話の中から以前の生活や人間関係の理解に努め、その繋がりが切れないようになじみの美容院へでかける、買い物したい場所にでかけるなどの支援を行うことができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4人	8人	1人		13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5人	7人		1人	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4人	4人	4人	1人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	6人	3人	2人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者さんとお話することで、行きたい場所や、若い頃のお話、生活スタイル、人間関係などを把握できた。また、送迎のときに家族さんに少しでも話しかけることで関係作りに努め、近所の人にも職員存在に気づいてもらえるよう挨拶をすることを欠かさないようにした。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
おでかけをすることは多かったが、その利用者さんの住み慣れた地域におでかけすることは少なかった。地域での行事を全ては把握できず、気づきたときには行事が終わってることがあり、おでかけする機会を逃すことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者さんの住んでいる地域を意識して、その人の住み慣れた場所や思い出のある場所へのおでかけを計画する。また、地域行事などの催しものにでかけるために週報などのチェックを欠かさないようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	14人
----------------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10人	2人	1人	1人	14人

前回の改善計画	利用者さんの細やかな心身の変化を観察し、悪い変化だけでなく良い変化も気づきノートに記録し話し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	観察して気づいたことを気づきノートに書く事で職員間で情報共有することができた。また、夕方に職員で話し合いながら気づきノートや個人ケースに記録をすることができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	9人	3人		1人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10人	3人			13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10人	1人	2人	1人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	11人	2人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族さんや利用者さんの急な要望にも「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせる柔軟に対応することができた。また、利用者さんの日々のご様子を話し合いながら気づきノートに書く事で情報を共有することができた。地域資源の把握にも努め、支援の一つとして地域資源を考えることができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
悪い変化に目が行き、良い変化を書いて情報共有することができなかった。また、夕方にその日の振り返りなどをする話し合いの時間を作れない日があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者さんの良い変化を積極的に見つけ、情報共有をする。夕方の業務を見直し、ミーティング時間を確保する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

6. 連携・協働	メンバー	14人
----------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	1人		12人

前回の改善計画	地域へ積極的にでかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のボランティアさんに協力して頂きながら去年おでかけしたことがある場所だけでなく、新しく見つけた行事や場所にもおでかけすることができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	8人	2人		2人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6人	3人		3人	12人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5人	5人	1人	1人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3人	5人	1人	3人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
同法人の保育園児さんと交流したり、ボランティアさんに施設に来て頂いたり、地域のイベントに参加したりすることで利用者さんが地域と関わる機会を提供できた。また、職員も順番に運営推進会議に参加し、自治体やあんしん支援センターさんとの関わりを増やすことができた。主治医、訪問リハビリさん、福祉用具さんと連絡を取りあい、情報提供などを行うことで連携に努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
保育園児さんが来て子供さんとの交流はよくあるが、高齢者さん同士の交流は少なく、ボランティアさんにも来て頂いているがまだ交流が活発とは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
保育園児さんとの交流を行いつつ、ケアハウスの利用者さんに声を掛けるなど地域の高齢者さんとの交流もできるような方法を模索する。地域のボランティアさんにもっと来て頂き、地域との交流を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

7. 運営	メンバー	14人
-------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画	家族さんや地域の方からの意見や相談、情報などをいただけるよう積極的に話しかけるなどし関係性を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時に家族さんとの会話の中で得られたことは、職員間で情報共有できた。家族さんにしっかり挨拶をして利用者さんのご様子などの報告をすることで交流を図ることができた。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	3人	7人	2人	1人	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5人	5人	2人	1人	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	6人	3人	2人	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2人	5人	4人	2人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族さんとの会話のなかで得られたことは職員間で共有できた。地域の方を見かければ挨拶をすることができた。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方と交流はあるが、限られた方としか交流がない。そのため、その他の地域の方とは挨拶をする程度の関係性しか築けていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の方との交流を図るため、多機能で行う行事に地域の方にも参加して頂けるよう直接ご案内するなど工夫する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	14人
-----------------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画	施設内研修、研修の内容よっての研修前の質問、振り返りは参加した職員は全員が提出する。施設内研修後、参加できなかった職員にしっかり伝える。夕方のミーティング時にその日に起きたヒヤリハットを話し合い、対策することを徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内研修に参加できなかった職員に研修の内容をしっかり伝えることができなかった。ヒヤリハットの提出数は増えたが、対策が徹底されないことがあり、似たようなヒヤリが起こることがあった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7人	3人	1人	2人	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	4人		5人	13人
③	地域連絡会に参加していますか					
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	8人	1人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
夕方の振り返りでヒヤリハットがなかったかその日のうちに確認し合う、ヒヤリハット報告書に目を通すなど、1年を通して全員でリスクマネジメントに取り組めた。また、月1回の職場内研修も行い知識や技能の向上に努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ヒヤリハットが提出される数は増えたが、同じヒヤリハットが起こることもあり、対策を徹底することが出来ないこともあった。また、夕方に話し合う時間を作ることができず、その日に起きたヒヤリハットをその日の内に話し合い、対策することができない日もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
施設内研修前後への取り組みを継続、夜勤等で研修に参加できなかった職員へは資料配布だけでなく言葉できちんと伝える時間を確保する。リスクマネジメントにも職員全員で引き続き取り組み、夕方のミーティング時にその日に起きたヒヤリハットを話し合い、対策する。	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年12月6日 (17:30~21:00)
------------------	-----	--------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	14人
--------------	------	-----

## ◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人		14人

前回の改善計画	利用者さんの介助方法や本人さんのことなど、個人情報に関する話をしたり記録するときには常に周囲の状況を意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人情報について気を付けて記録や話をする事ができたが、緊急時や、急いでいる時などは周りを気にかけることを忘れて話してしまうことがあり、大きな声になってしまうなど周囲に気を配ることができなかった。

## ◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14人				14人
②	虐待は行われていない	13人	1人			14人
③	プライバシーが守られている	8人	6人			14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10人	3人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者さんや家族さんから得た情報は職員内のみで管理する、個人ケースの記録物はすぐに片付けるなど、個人情報の取り扱いに気をつけることができた。また、入浴やトイレのときは入室に気を配るなどプライバシーに配慮して対応することができた。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 排泄状況などを他の人に聞こえる大きさの声で職員に伝え、プライバシーに配慮できていないことがあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 個人に関すること(特に排泄状況)を職員に伝えるときには常に回りの状況を意識する。
---------------	--